

公益社団法人 全国病院理学療法協会

# 広 報

令和元年7月21日 第235号

## 目 次

令和元年度 地方会代表者会議（要旨）	1
第60回 定時代議員総会 議事録（抄）	4
令和元年度 第1回理事会 議事録（抄）	10
令和元年度 保険局活動報告	17
正味財産増減計算書	18
貸借対照表	20
監査報告書	21
諸会議及び役員渉外行動報告	22
本部発信文書一覧	23
菊田京一先生 旭日双光章受章の栄誉に輝く	24
第69回 日本理学療法学会 開催案内	25
第69回 日本理学療法学会における演題募集のお願い	26
令和元年度 地方学会 開催案内	28
第42回 理学療法指導者講習会 開催案内	29
認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会 開催案内	29
令和元年度 会費納入のご案内	30

## 令和元年度 地方会代表者会議（要旨）

日 時 令和元年5月24日(金)9:30～10:30

場 所 諫早観光ホテル道具屋(諫早市)

出席者

理 事 平野五十男(会長)  
青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)  
小川 嗣人(副会長・学術局長・理療出版部長)  
丹羽つとむ(常任理事・組織局長)  
小路口 憲(常任理事・広報局長)  
三浦 政則(財務局長)  
三宅健一郎(学術局次長・理療出版副部長)  
津田 敏彦(学術局次長・教育研究部長)  
可知 謙三(組織局次長)  
野山 隆司(財務局次長)  
多田 浩幸(特殊出版部長)

監 事 大塚 正廣・中川 保・大内田 義己

相談役 柳澤 貞男(表彰選考委員長)

欠席者 倉石 健二(相談役)

地方会執行委員長

大野 敏彦(北海道)  
菊池 武彦(東北)  
杉浦 幹雄(関東甲信越)  
蟹谷 泰郎(北陸)  
加藤 尚浩(中部)  
町井 修治(近畿)  
川口 清宣(中国)  
石川 啓一(四国)  
西口 政男(九州)

司 会 青柳事務局長

本日は地方会の現状について事情も含めて報告いただきたい。始めに会長より挨拶があります。

挨 拶 平野会長

この度、JCB カード会社が行った年会費の請求が退会している一部の方に行われたことに対しお詫びを申し上げます。

原因については、協会とJCB双方の担当者が交代したことで、打ち合わせ並びに確認作業が不十分であったこと

によって起こりました。返金については、6月10日JCBより間違っ引き落とされた方の口座へ返金されます。この度の事態で退会者を始め多くの皆様へご迷惑をお掛け致しました。なお、返金方法並びにお詫びを、協会ホームページへ2度に亘り掲載しております。

次に、ホームページ管理会社のウェントレス大阪と協会ホームページの委託契約を結び、青柳事務局長、野山理事を中心にホームページのリニューアルを行いました。

また、今年の春の叙勲において、協会の組織局長並びに監事として永年に亘り役員を務められました、福島県の菊田京一先生が旭日双光章を受章されたことを報告いたします。

### 1. 各地方会の現状及び要望・意見等

#### 1) 大 野 (北海道地方会)

(1) 会員の高齢化に伴い会員数の減少が続いている。そのような中で全国学会の開催を担当するに当たって、北海道の役員の中では事前の準備や当日の運営に係る人員を確保することができるか心配しています。

今後、学会を継続して行くためには諸会議を含め学会日程の短縮を検討すべきです。学会運営に関しても、参加している代議員や本部役員から必要に応じて支援が受けられると良いと思います。

(2) 昨年、北海道で起きた災害で一人の会員が被災しましたが、私たち会員は何もできず行動できなかったが鍼灸師会、柔整師会などは災害支援に行動しているので今後の検討が必要ではないか。

#### 2) 菊 池 (東北地方会)

(1) 東北6県の中で20名以上の会員数が在るのは福島県だけで、他はそれ以下

- となり減少が続いている。そのような状況ですが9月に盛岡市で東北理学療法研修学会の開催に向け準備を進めている。(開催案内 P28 参照願います)
- (2)本部からの発信文書のなかに支部、地方会での取り扱い方など、その対応方法が分かりにくい事があるので、支部、地方会のどちらで返信すべきか、その返信の手段は郵送なのかメールで良いのか、それらについて文章への明記をお願いしたい。
- (3)退会者へ会費請求を行った件について、支部でもお詫びなどの対応を考えているので、対象となった方の名前を教えてください。
- (4)会費の値上げによって地方会交付金が増額されたことで、地方会会議の開催や支部への活動費の支援が可能となりました。
- (5)今年度より会費が値上げになったが、会友会費の額はいくらですか。
- 3) 杉 浦 (関東甲信越地方会)  
今年度は、東京・埼玉・神奈川・千葉県支部を除いた会員数の少ない支部を対象に、支部研修活動費を助成する目的で新たな予算を作りました。課題講習会を単独で開催できない支部を対象に補助して行く制度を始めました。
- 4) 蟹 谷 (北陸地方会)  
(1)本年度は、10月に第42回理学療法指導者講習会を金沢市で開催します。本部と石川県支部で開催に向け準備を進めています。(開催案内 P29 参照願います)  
(2)高齢の会員が多く会員数は減少が続いている。そのような背景もありエビデンスの集積には、協力したいが難しい状況もある。
- 5) 加 藤 (中部地方会)  
(1)会員数は減少が続いている。技能講習会を企画しても参加者が無く会員増には繋がらない状況である。
- (2)役員も高齢となり若い役員の成り手が見つからず苦慮している。
- (3)来年、20年ぶりに名古屋市で全国学会を開催するので準備を進めています。(開催案内 P25 参照願います)
- 6) 町 井 (近畿地方会)  
(1)大阪以外の支部で会員の減少が続いている状況が有り苦慮している。  
(2)地方会から各支部への助成金は昨年まで一律に定額で再交付をしていたが、支部によっては不足する所も在るため、今年度からは差をつけて配分しています。(開催案内 P28 参照願います)  
(3)技能講習会の参加者が集まらず開催を見送った時、受講希望者に対し学術団体として、入会だけでも促すべきではなかったかと自分で思うことがあります。  
(4)近畿では役員交代があり3支部が40歳代、残りの2支部が50歳代となっている。
- 7) 川 口 (中国地方会)  
(1)第46回中国四国理学療法学会を11月に開催します。(開催案内 P28 参照願います)  
(2)昨年は、第41回理学療法指導者講習会を広島市で開催することができた。  
(3)本年度は、技能講習会の開催に向け受講者の募集を始めている。  
(4)会員減少を防ぐためにも、退会を考えている会員に対して役員が誠実に対応しなければならないと日々感じています。
- 8) 石 川 (四国地方会)  
(1)現在の会員数は60名です。地方学会は、中国地方会と合同で開催しています。  
(2)課題講習会の開催は1年間で10単位程度、3年で30単位が取得できるよう計画しています。  
(3)会計処理で戸惑うことも有り、間違いを失くすためにも財務処理のマニュアルを提示してほしい。  
(4)役員の固定化、高齢化に対する打開

策が見えない。

9) 西 口 (九州地方会)

- (1) 今回の全国学会の開催準備は4～5名の役員で行って来たので、抄録集の発送の遅れなどで大変ご迷惑をお掛けしました。
- (2) 準備段階で感じたことは、役所などで本会を説明する時大変苦勞する。そんな時に協会の入会案内が役立ちました。

2. 本部答弁・質疑

青 柳 会員数の減少、それに伴う役員の世代交代の難しさなど、地方会の共通した課題を聞く中で、入会間もない会員がどんどん退会して行く。そのような実態を重く受け止めている。また、諸会議を含め学会の準備、運営に関して、担当することに不安を感じている意見が多く出ていた。その点についてお聞きしたい。

西 口 学会準備は少数の役員で行って来たが、本日から九州地方会から何名かの協力をいただける状況になっている。

演題数については、本部からの協力で集まったが、協力が無ければ学会は運営できない。

大 野 これから学会を開催するためには、本部を含め他の代議員などから協力が得られるような仕組みが必要と考えている。

また、諸会議の開始を午後からにするなど、日程の短縮を検討して欲しい。

加 藤 地方会代表者会議を充実させるためにも、時間を拡大してはどうか。

また、本部と地方会の連携のため理事会のコピーなどを地方会に示していただきたい。

平 野 (1)北海道などからの要望で、全国学会の開催方法ならびに諸会議の日程に関わる意見については7月の理事会で検討します。

- (2) 東北からのJCBカード会社より間違っって引き落とされた対象者の名前を支部として対応するために知りたいとのことですが、対象となった退会者全員へ通知文を送っていますので、これから地方会や支部の方へ問合せが来ることは無いと考えています。
- (3) 東北会からの質問ですが、会友会費は正会員の半額と定款細則に示してあり、1万1千円となります。

次に、本部発信文書については、文書の取扱い並びに返信方法を発信文書内に明示します。

また、要望された財務処理マニュアルについては、三浦財務局長と相談し前向きに検討します。

青 柳 協会ホームページを4月からリニューアルした主な内容は、協会の情報を速やかにホームページに掲載し会員に伝えるために行った。また、担当理事が直接情報を掲載できるようなシステムにします。

加 藤 リニューアルしたホームページで感じる点は、文字が小さく見づらい点があります。診療報酬改定などの情報は、分かりやすく充実して欲しい。

菊 池 各種様式で古いものがまだ掲載されているので、差し替えをしてください。

青 柳 本部でも点検はしているが、気になる点があれば連絡していただきたい。

地方会代表者会議は、組織局、広報局、学術局からの事務連絡後、終了となった。

## 第 60 回 定時代議員総会 議事録 (抄)

1. 日 時 令和元年5月24日(金)11:00~14:30

2. 場 所 諫早観光ホテル道具屋(諫早市)

3. 議 長 日比野 智 代議員  
(中部地方会 愛知県支部)

書 記 柳澤 貞男 相談役  
津田 敏彦 理事

4. 総会成立確認 青柳事務局長から、定款18条により代議員定数19名、出席代議員数18名(委任状1名)で、第60回定時代議員総会の成立を宣言。採決に際しては、関東甲信越地方会の石田代議員欠席のため梅田代議員に委任しており、採決に際して梅田代議員は2票の議決権を有します。  
オブザーバー 6名の出席が報告された。

5. 挨拶 平野会長

協会の事業が円滑に進むよう、活発なご意見をお願い致します。

始めに、謝罪を申し上げます。(会長挨拶は地方会代表者会議の挨拶文 P1 参照します)

6. 議 題

第1号議案 平成30年度 事業報告  
近畿会(町井)

エビデンスの集積依頼を受けて会員にお願いする中で、会員の勤務状態あるいは勤務先によってデータの収集がとりづらい環境に会員がいるのではないかと感じています。エビデンスデータが集まらない現状には集まらない理由があると思っています。その点について保険局としてどのように認識していますか。

青柳保険局長

会員を指定しての調査は、昨年この調査を始める段階ではできる状況には無く全体を対象に調査依頼を行った。今回の調査で協力できる先生の勤務状況や、どのようなデータを提出してもらえるかなどを、ある程度こちらでも知ることができましたので、今後は町井代議員の意見を参考に取り組みで行きたい。

また、今回厚労省へデータを持って行く事で、より具体的なものを要求されるようになって来ると考えられます。例えば介護報酬の個別機能訓練の中にあるADL維持加算についてデータ取りを行っています。今後の介護報酬改定では調査したバーサルインデックス(BI)の数値が指標になって行くと思われれます。そのようなことで、町井代議員の考えに沿った方向で今後も調査をピンポイントでお願いし継続して行く考えです。

小川学術局長

技能講習会学習レポートの選考結果を報告します。北海道北支部の武田信子氏、症例報告でテーマは「急性期脳梗塞の一症例」です。次に、埼玉県支部の佐々木将仁氏、研究論文でテーマは「筋肉の柔軟性の変化量について、ハムストリングスの柔軟性」です。次に、大阪府支部の小谷大輔氏、症例報告でテーマは「立ち上がり痛を呈した膝関節OAに対する運動療法、動作時痛軽減を目指す」です。以上3名に学術奨励賞決定の通知を致しました。

日比野議長

エビデンスに関しての意見を求めます。  
四国会(石川)

エビデンスの調査依頼を会員に行う場合、評価手順を統一した方が良いのではないか。調査を進める中で個人情報など注意をしなければならない事が有ります。協会の方から職場へエビデンス集積活動を行っている事が理解してもらえようような文書を提出していただけると会員は助かります。

青柳保険局長

調査方法を統一した方が良いことは分かりますが。国が行っている内容は非常に細かく難しい面がある。しかし、何らかの形で統一性を持たせることも大事でありますので、国が出しているアンケートの内容については、今回協力して取り組んでくれた会員に送り意見を聞いてみたい。

四国会（石川）

協会として、施設とか病院へ指し示せられるような文書が何かあれば良いと思います。エビデンスもレベルがありますので、あまり低すぎると持って行きづらいのでは。

青柳保険局長

個人情報については協会から文書を送っておりますが、石川代議員の意見も検討して行きます。今回のエビデンス集計調査は一定の期間に技能認定登録者が扱った患者、利用者の調査なので、調査したすべての結果を提出してください。

北陸会（向井）

運動器Ⅲの算定要員として、理学療法士の助手的要因の職務には限りが見えて来ています。事務職に廻されたり、それとなく肩を叩かれる者もおります。そこで私たち本来の技術を発揮できるマッサージの点数を独立させ取得、加点ができるようにして欲しい。また、近年会員

減少のため予算減が続くなか、公益法人を維持するために毎年税理士法人へ多額の支出を続けているのは如何なものかと、地方会では意見が出ています。

三浦財務局長

財務局としても向井代議員の指摘は十分理解している。財務処理経費の削減に向け検討中であります。

日比野議長

第1号議案について採決を行います。  
(定数19名、全会一致で承認)

第2号議案 平成30年度 収支決算報告及び監査報告

三浦財務局長

平成30年度収支決算報告は、議案書(広報234号)並びに別紙資料として配布した書類のとおりです。(貸借対照表、正味財産増減計算書P18、19参照)

中川監事

平成30年度監査報告(監査報告書P21参照)

九州会(麻生)

- (1)支部予算の事業費と管理費の分け方について教えてほしい。
- (2)会計担当者の引継ぎ用のマニュアルを作してほしい。
- (3)学会決算の雑支出の内容は何か。
- (4)学会決算で残金が出た場合どのように処理するのか。
- (5)熊本県支部の会計処理問題の件もあるので、法人としてマニュアルを作成してはどうか。

三浦財務局長

- (1)予算を組む時に事業費より管理費が多くならないように注意して欲しい。会議などでかかる経費は管理費ではなく事業費に入れる。課題講習

会などで支出する経費を予算する時も事業費として仕訳します。

- (2)引継ぎ用マニュアルについては検討させていただきます。
- (3)昨年の埼玉学会での雑支出は記念事業費関係です。
- (4)学会の収支決算で出た残金は本部へ戻すことになっています。
- (5)熊本県支部では、年間予算を超える支出を繰り返し行っていたので、今回、本部としてこのような処理を行った。

平野会長

熊本県支部について補足します。熊本県支部のある個人の方が、支部で支出した金額を立て替えて来た状況が4～5年続いていた。公益社団法人として不適切な処理であるため、その個人が立て替えた金額のすべてを今回返金しました。

今後、このような会計を行う事が無いよう本人と熊本県支部長、地方会長の連名で誓約書を提出していただく方法を取ります。

中部会（内田）

平成28年度までの未納者については除籍処分となりましたが、新年度に入った状況では平成29年度会費未納者の扱いはどのようになりますか。また、除籍者に対する対策は今後どのようにするのか、今後も続けて行くのかお聞きしたい。

三浦財務局長

未納者対策は今回始めた経緯もあり、29年度の未納者は、30年度分と併せて行います。未納者の人数が多かったことも理由としてあります。除籍者に対しての未納金の請求は続けて行きます。

平野会長

今後も2年間の会費未納者については、

定款に準じて除籍処分を継続します。

近畿会（町井）

除籍した会費未納者の損失処理分の金額は会計書類のどこを見ると分るか教えてほしい。また、定款では2年間の会費未納で除籍と定めているが、2年間は長過ぎるのではないか。1年単位で行うべきであり、会費納入は年度末前納制にすべきです。

三浦財務局長

除籍処分となる未納期間を、2年なのか1年にするかについては、この場では返答できないが理事会などで考えてみたい。

近畿会（町井）

未納損失処理の金額について、どこに示しているのか教えてください。

杉浦財務対策委員

損失処理を確認するには、平成30年度計算書類の1ページ、貸借対照表の中の流動資産に未収会費の項目が有ります。そこに292万円の額が示されている。

今回、もしも除籍をしなければ未納者50名の3年分の300万円がさらに未収会費として当法人の財産として計上されることとなります。今回、数字上で300万円が消えたと言うことが、損失処理をしたと言うことです。現在計上されている292万円という金額は、平成29年度からの未収会費であり、貸金と言うことで当協会の法人財産として計上していることとなります。貸借対照表から300万円分が消えたと言うことで、いくら損失処理をしたかが分かることとなります。

また、このような未収会費の損失処理をすると、30万円程度の処理経費がかかります。その経費は会費収入からその分を減額して処理しています。

#### 四国会（石川）

会費未納状況を把握する方法として、  
会員管理クラウドの中で会費納入状況が  
分るように本部でしていますので、そち  
らで確認できると思います。

日比野議長

第2号議案について採決を行います。

（定数19名、賛成18票、反対1票で承認  
される）

#### 第3号議案 表彰に関する承認

青柳事務局長より推薦者が提案される。

- 1) 栄誉賞 三宅 健一郎（平成30年春  
の藍綬褒章）
  - 2) 学会長・準備委員長表彰  
第67回 日本理学療法学会  
学 会 長 三浦 政則  
準備委員長 山下 勇司
  - 3) 組織拡大貢献支部表彰 該当する支  
部なし
  - 4) 学術奨励賞 武田 信子(北海道北支部)  
佐々木 将仁(埼玉県支部)  
小谷 大輔(大阪府支部)
  - 5) 特別感謝状 山口 和子(神奈川県支部)
- （定数19名、全会一致で承認）

#### 第4号議案 第69回 日本理学療法学会 学会長・準備委員長の承認

青柳事務局長より学会長・準備委員長が  
提案される。

学 会 長 加藤 尚浩  
準備委員長 近藤 隆信

（定数19名、全会一致で承認）

#### 第5号議案 第70回 日本理学療法学会 開催地の決定

青柳事務局長より開催地が提案される。

北海道地方会 札幌市で開催

（定数19名、全会一致で承認）

#### 第6号議案 役員改選管理委員の選任

青柳事務局長より管理委員が提案される。

坂田 武(北海道・東北・関東甲信越)

津田 佳史(北陸・中部・近畿)

武智 健二(中国・四国・九州)

（定数19名、全会一致で承認）

#### 7. 報告事項

日比野議長

令和元年度の基本姿勢及び事業計画な  
らびに予算について意見を受けます。

平野会長

令和元年度の基本姿勢及び事業計画な  
らびに予算については、すでに内閣府へ  
提出を終えています。それを踏まえてご  
意見をお願いします。

関東甲信越会（井上）

今後、会員数が減少することも予測さ  
れます。会費の値上げは今後もあるの  
ではないか。また、会員が減少するよう  
なことになる、地方会の交付金が減額  
される事にもなりかねない。そのような  
事にならないためにも、本部の事業をス  
リム化して欲しい。具体的には、諸会議  
を含め学会日程などをスリム化し、支出  
の削減を検討していただきたい。

平野会長

会費の値上げは全く考えてはいない  
が、現在の組織をできるだけ維持する  
ことを各支部、地方会で努力していただ  
きたい。今回、増額した地方組織への交  
付金は今後も継続して行きます。また、  
学会日程を含めた開催の仕方については、  
他の代議員からも同様の意見が出され  
ており、次の理事会で検討します。

関東甲信越会（等々力）



リンパ浮腫の複合的理学療法に関して、マッサージ師はPT,OT,看護師の指示及び事後報告が必要となっているが、開業しているマッサージ師にはそのような条件は無く、その違いについて医政局へ確認して欲しい。また、地域包括ケア病床の算定要員はPT1名の他はマッサージ師でも良いと認められているはずだが、長野県の担当者は認められないと言っている。本部で、厚生局の中で統一していただくよう確認して欲しい。

青柳保険局長

リンパ浮腫に関しては、要望活動の時に確認します。地域包括については、等々力代議員からの意見の趣旨は理解しているので、担当官への質問の仕方を考えて照会してみたいと考えている。

北海道会（大野）

会員が減少して行くなかで、学会を担当し開催準備を進めて行くには、大変な状況もあるのではないかと。今後の在り方として協力体制を本部としても検討していただきたい。

中国会（坂原）関連質問

学会の担当を会員数の少ない支部だけに任せるのは無理ではないか。複数の支部で学会を担当する方向に変える必要が有るのではないかと。

東北会（菊池）

認定機能訓練指導員講習会が試験財団の方で開催されると聞いているが、講習会の認定そのものが公的価値として職場、事業所で認められるような認定になるよう本部としても調整して欲しい。

関東甲信越会（井上）関連質問

認定機能訓練指導員講習会が、どのような経緯で始められるのか教えて欲しい。全病理としては、技能認定登録を受

けている鍼師が、6ヶ月の見習い期間を免除されるような条件で運動して欲しかった。また、講習会の後援団体に全病理が入っているが、協会としてどう活用して行くのかお聞きしたい。

小川学術局長

2019年度認定訪問マッサージ師講習会、認定機能訓練指導員講習会の開催については、介護保険の方で鍼師が算定要員に組み込まれたので、鍼師を含めた講習会を7団体で開催します。11月と来年1月に開催を予定しておりますので、参加をお願い致します。（開催案内P29参照願います）

青柳保険局長

井上代議員からの鍼師6ヶ月間見習い期間の免除の件ですが、昨年、厚労省で要望を行いました。担当官より鍼師灸師は他の団体にもおり、他団体との了解が必要だ。全病理だけを取り上げることは出来ないと言われている。

関東甲信越会（井上）

あはき師の就職状況調査は今後も継続するのか。

丹羽組織局長

調査は継続する方向で考えている。調査結果を見ると病院、診療所に勤務するマッサージ師の減少が著しい。

近畿会（町井）

会費未納で除籍された者が再入会する時の扱いはどのように考えているのか。また、会員管理クラウドなどで除籍処分者の再入会を確認できるようにしてはどうか。

平野会長

再入会するためには、何らかの条件の検討も必要と考えている。また、会員管理システムの改善にも取り組んで行く。

東北会（菊池）

組織を運営するには、組織局と財務局間の情報の共有と情報の正確性が問われます。正しいデータを共有することで組織運営や管理ができるわけですので、今回のように退会者へ会費請求を行わないためにも、部局間の連携を密に図っていただきたい。

丹羽組織局長

ホームページの改善を行っているところです。組織局と財務局をリンクさせることで、お互いに情報を共有できる体制にしていきます。会費の入金情報をリンクさせ入金の確認ができるようにします。

野山財務局次長

効率的に事務処理を行うことは大事なことであるが、本部体制としては人員不足の面もあるのではないかと感じている。

北海道会（大野）

課題講習会の単位取得についてですが、他団体主催の研修会へ参加した場合、単位の取得は認められますか。

柳澤相談役

技能認定登録制度の規程に、他団体主催の研修会参加についての単位取得が示されていますので、確認してください。

中部会（内田）

会員数の減少問題について、本部ではどのように考えているのか。

小川学術局長

学術団体として、会員が研鑽を積む機会を多く設け、入会に繋がればと考えている。

野山財務局次長

現在の医療制度の中では、現状を維持して行くだけでも仕方がない面もあるが、良い意見があれば地方組織から本部へ提言してもらえれば良いと思います。

平野会長

組織を維持するには、技能講習会を開催することと、会員個人がスキルを高めて行くことで組織を維持強化して行くと考えている。

丹羽組織局長

病院、診療所には、未入会のマッサージ師などが多くいます。本会をPRし入会を促すことも必要と感じている。

中部会（内田）

会員が課題講習会のメリットを感じられなくなって来ていることが、退会など会員の減少につながってきていると思う。

可知組織局次長

技能講習会を開催するだけで会員が増えると言うことは、これからは難しい状況になって来ている。協会の方向性をしっかりと議論する場を設け、話し合いをすることが必要だ。

三宅学術局次長

自分たちの持っている資格を高め、東洋療法と理学療法を絡めた統合医療をリハビリの中で実践し、活躍できる場を作っていくことが大事ではないか。

他、代議員から多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

# 令和元年度 第1回理事会 議事録(抄)

日時 令和元年7月7日(日)10:30~14:40

場所 協会事務所

出席者

- 理事 平野五十男(会長)  
青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)  
小川 嗣人(副会長・学術局長・理療出版部長)  
丹羽つとむ(常任理事・組織局長)  
小路口 憲(常任理事・広報局長)  
三浦 政則(財務局長)  
三宅健一郎(学術局次長・理療出版副部長)  
津田 敏彦(学術局次長・教育研究部長)  
可知 謙三(組織局次長)  
野山 隆司(財務局次長)  
多田 浩幸(特殊出版部長)
- 監事 大塚 正廣・中川 保・大内田 義己  
相談役 倉石 健二・柳澤 貞男(表参考委員長)  
公益法人推進部長 杉浦 幹雄

開会に先立ち青柳事務局長より、出席者数及び理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、併せて報告事項は青柳事務局長が司会進行を、議案は平野会長が議長を務めること、並びに書記・録音は小路口広報局長が担当することが告げられた。

会長挨拶

令和元年度第1回理事会では長崎で行われた定時代議員総会で示された課題を中心に、今日の理事会で討議を行っていただきたい。

## 1. 報告事項

報告1) 役員渉外行動報告

平野 役員渉外行動報告は広報235号へ掲載します。(諸会議及び役員渉外行動報告P22参照)

報告2) エビデンス集積結果及び保険局要望活動報告

青柳 各地方会よりエビデンス集積に協

力を頂き、現在48名よりデータの提供を受けている。地方会別に提供数を示します。

北海道地方会2名、東北地方会4名、関東甲信越地方会30名、北陸地方会2名、中部地方会4名、近畿地方会4名、中国地方会0名、四国地方会1名、九州地方会1名となっている。提出いただいた評価値集計の内訳は、

Barthel Index; 機能的評価BIが385ケース(機能的評価BIと略す)

Functional Independence Measure; 機能的自立度評価FIMが82ケース(機能的自立度評価FIMと略す)

高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)が85ケース

要介護度・要支援が61ケース

その他、痛みの評価又は症例報告などが6ケースとなっている。

令和元年6月26日厚生労働省へエビデンスデータを持って診療報酬、介護報酬の要望活動を行ってきた。厚労省から様々な指摘を受けたので理事の意見を頂きたい。(保険局活動報告P17参照)。

三宅 厚労省から指摘しているように、PT協会が行っているようなエビデンス集積のデザインを決めて行うべきだ。

可知 厚労省へ行う保険局活動の中では、認定登録者が診療報酬上での位置付けが、今後も変わることが無いよう常に要望して行って欲しい。また、あん摩マッサージ指圧師に「等」を併記し、技能認定登録をしている柔道整復師がマッサージ等の手技療法を行えるようにして欲しい。

- 津 田 エビデンスを集積する時は、個人情報  
情報の取扱いについて十分注意し  
て行うべきだ。
- 青 柳 エビデンス調査の協力者が勤務す  
る施設には、調査協力をお願い文  
書を送っている。調査する上で必  
要な場合は個別に対応します。今  
後も個人情報の扱いには、引き続  
き注意を払います。
- 野 山 エビデンスデータの調査は、PT  
協会の調査方法と同様にデータ集  
積をすべきではないか。
- 青 柳 PT協会で行っているエビデンス  
調査の方法について、具体的なデ  
ザインがどのようなものなのか、  
実行可能な方法があれば示して欲  
しい。
- 平 野 関東甲信越地方会以外の地方会か  
らの協力が少な過ぎるのではない  
か。
- 小路口 北海道地方会から2名の協力者し  
か出せなかったが、その背景には、  
多くの会員がPTと同様の仕事を  
している状況ではなく、消炎鎮痛  
を主に行っていることや、整形外  
科、クリニックで担当する患者さ  
んは初めから自立している状況も  
有り、FIMとかBIを集積するこ  
とが出来づらい状況で勤務してい  
る影響もある。
- 多 田 九州地方会は、会員の減少、実際  
に臨床で機能訓練を行うことや技  
能認定を使うことが少なくなっ  
ているために集積できない。
- 杉 浦 関東甲信越地方会では、各支部の  
会員数に応じてデータの集積数を  
割振りし、各支部長がお願いし実  
行した結果集めることができた。  
東京支部では、データを提出でき  
そうな会員へ個別にお願いするこ  
となどを行っている。
- 青 柳 各支部で集積数を割り振るなど、  
データを出せる会員へ直接お願い  
するなど、さらにデータ集積に協  
力をお願いしたい。
- 報告3) 令和元年度技能講習会の開催について
- 小 川 今年度は関東甲信越地方会神奈川  
県支部並びに近畿地方会大阪府支  
部で開催が決まりました。現在、  
受講者は60名位と報告を受けて  
います。
- 可 知 中部地方会は4名の受講希望者に  
留まり開催は中止となった。2名  
の受講希望者は近畿地方会で受講  
します。また、お願いですが、視  
聴覚教材の更新のため、講習会を  
開催する地方会には、講義内容の  
ビデオ録画など教材の更新に協力  
していただきたい。
- 平 野 中国地方会からも4名の受講希望  
者に留まり、中止することが報告  
されている。
- 小 川 令和元年度の認定訪問マッサージ  
師講習会並びに認定機能訓練指導  
員講習会が11月23日より開催さ  
れます。今年度からは、はり師きゅ  
う師も対称になります。講習会開  
催案内が協会に届いておりますの  
で、各地方会執行委員長宛に送付  
し参加者を募りたいと思います。
- 報告4) 協会ホームページの現状と今後の対応
- 青 柳 現在、掲載している内容の点検、  
更新作業を優先して行っている。  
また、部局長によるホームページ  
の更新作業の開始時期は、作業手  
順の習得が済み次第行って行きた  
い。また、最新情報の掲載などは  
ウェンドレス社に従来どおり委託  
する。
- 野 山 技能認定登録者名簿のページ更新  
には、組織管理クラウドとのリン  
ク作業が有り、少々時間をいただ

きたい。

#### 報告5) 令和元年度会費納入状況と会費未納者への対応

三 浦 今年度の納入状況は、口座振替者が280名で、JCBカード納入者が847名となっており、合計で1127名（未納者397名）になっている。未納者については9月に督促状を送付し請求します。（P30参照）

代議員総会でも出ていた平成28年度からの長期会費未納者51名を、今年度除籍処分にした。また、熊本県支部で不適切な会計処理を行っていた件について、現在、適正に対応中であり、今年度より組織管理クラウド上で、支部会員の会費納入の有無が確認できるようになった。

小路口 組織管理クラウド上で所属支部会員の当年度会費の納入状況を支部長や会計担当者が把握することが出来ます。会費未納者の徴収に役立てていただきたい。

杉 浦 長期未納者の把握には、会計クラウドの中で確認できるページを掲載するなどをして、支部長、会計担当者と情報の共有を行って行う。

#### 報告6) 組織管理クラウドの運用と会員数等の近況報告

丹 羽 支部へ3月現在の会員名簿の確認を依頼しているが、数支部からまだ届いていないため、数値的には中間報告となる。また、組織管理クラウド上の免許別一覧表の中で、今まではソーシャルワーカー等が無資格者の中の数に入っていたが、今回よりそれぞれの項目を設け、その中に入力し無資格者を失くすようにした。組織管理クラ

ウドの運用についても、会員登録事項の入力を組織局で直接行いますので、名簿の修正、変更など速やかに行われるようになります。

小路口 会員の就労状況が分かるような会員実態調査を行うことを検討してはどうか。

丹 羽 調査の必要性はあるが、会員全体から調査結果が届くようにしなければならない。

可 知 会員からの回収率を上げるために、料金別納の返信封筒を付けて行う。

また、各支部で会員への調査目的の趣旨を伝えることも必要ではないか。

また、会員の勤務状況によって、診療報酬と介護報酬それぞれ別立ての質問にするなど検討が必要ではないか。

三 宅 実態調査の内容や方法について、組織局へ各理事が提案してはどうか。

青 柳 調査を実施するか否かを含め、組織局で検討をお願いします。

#### 報告7) 広報編集と発行状況

小路口 平成30年度の広報並びに、広報に関わる特殊出版物の発行は予定とおり行われた。デジ版の発行経費については、値上げはせず今までとおりで契約することが出来た。

#### 報告8) 理療編集と発行状況

小 川 理療190号については、8月下旬の発行を予定している。

#### 報告9) 第68回日本理学療法学会の終了報告

多 田 学会の参加者は、会員117名、一般34名、学生1名で合計152名でした。

報告 10) 第42回理学療法指導者講習会の進捗  
津 田 石川県支部が前日の宿泊について、45名分を確保しているの  
で、8月31日の締め切りまでに申し  
込みをするようお願いします。

報告 11) 第69回日本理学療法学会の進捗状況  
可 知 会員から現在、20題ほど演題発表  
の内諾を得ている。予定としては  
40題を目標に取り組んでいる。課  
題は当日の参加者をどれだけ集め  
れるか、それらについて検討して  
いるところです。

報告 12) その他

小 川 西日本理学療法研修学会の開催内  
容について、協会ホームページへ  
掲載した開催情報に誤りがあった  
ため、開催日ではない日時に大阪  
府支部会員1名が広島まで出向い  
てしまう事態となった。会員に対  
しては謝罪文と単位シールを送付  
し、ホームページにも謝罪文を掲  
載した。

野 山 受講していない会員に単位シール  
を与えて処理することに疑問を感  
じます。交通費の支弁を行った方  
が良かったのではないかと。

小 川 今回は緊急的対応であり、会長と  
相談しこのように処理した。

平 野 今回の対処方法は仕方がなかつ  
た。今後このようなことが無いよ  
う十分に注意します。

小路口 今後間違いを起こさないためにも、  
開催案内などの掲載に際しては、  
主催者側と両方で確認することが  
大事である。今回のことに対して、  
監事はどのように考えますか。

大 塚 基本としては、謝罪までで良かつ  
たのではないかと。単位を与えるの  
は如何なものか。

中 川 今回の処置は軽率だと思う。役員

に相談すべきではなかったか。今  
後このようなことが無いよう確認  
して行ってください。

大内田 今回の処置に関しては理事の意見  
を聞くべきではなかったか。

平 野 今回このような対処方法を取った  
ことに対してお詫びします。今後  
は理事、監事に相談し対策を考え  
て行きます。

以上で報告を終了する。

## 2. 議 題

議題 1) 日本理学療法学会に係る諸会議・学  
会開催日程の検討

平 野 諸会議並びに学会の開催方法を見  
直してはどうかと言う意見が代議  
員総会で多く出ていたので討議し  
たい。ここ2～3年の会議時間は  
どのぐらいか。

青 柳 代議員総会の所要時間は平成29  
年の大阪では4時間10分、昨年  
の埼玉も4時間10分、今年が2  
時間30分です。地方代表者会議  
は1時間です。

小路口 会員数の減少や財源的な問題も含  
め、また諸会議に出席する会員の  
負担軽減などを考えると、諸会議  
の開始時間の見直しを検討する  
のではないかと。この度の地方会  
代表者会議、代議員総会の中でも  
同様の意見が出ていた。具体的  
には、会議の開始時間を午後1時  
より開始することで会議のため  
に前泊する経費や会員の時間的  
な負担を軽減できる。

平 野 諸会議を午後1時から開始し終了  
を午後6時30分頃に変更する案  
ですが、あくまでもこの提案は、  
2年後の学会からのこととなりま  
すが。

青 柳 会議の前日に午後休暇を取って参

加することが業務上難しくなってきた。金曜日の午後開始の方が良い。

可 知 代議員総会は協会にとって大事な会議でもあるので、十分な質疑時間を設けること、役員改選選挙のある年は更に時間がかかり、終了時間を遅らせることも必要になる。費用対効果を考えて慎重に検討すべきである。

多 田 九州から北海道へ行くことを考えると前日に出発しなければ間に合わない。今までとおりで良い。

杉 浦 前泊を減らすため、午後から開始する日程に変更すると良い。

津 田 開催地によって検討すべきです。北海道は距離を考えると前泊の方が良い。

野 山 午後からの開始が良いが、会議に必要な時間はしっかり確保することが必要。

三 浦 午後からの開始が良い。

丹 羽 午後からの開始が良いと思うが、地域によっては前泊も必要になる。選挙の年などを含め検討すべき。

小 川 参加者の負担と経費削減がどの程度になるかであるが、どちらにしても時間にはこだわらない。

三 宅 会議の時間を決めて効率的に行うことには賛成ですが、開催地によっても条件が違うのでさらに検討すべき。

大内田 東北から出向くことを考えると、今までどおりが良い。

中 川 午後開始で7時ごろ終了でも良いのでは。

大 塚 学会開催地によっては前泊も必要になる場合も有る。

柳 澤 諸会議の開始時間を変えることには問題ないが、会議より学会そのものの方が問題があると思う。

倉 石 諸会議午後開始を支持します。経費の節減を是非行って欲しい。

平 野 諸会議を午後から開始する意見が多いようであるが、具体的に経費がどのくらい削減できるのか示してください。

小路口 次の理事会で審議できるよう経費削減案を提示します。

三 宅 最近の学会運営状況を見てみると、準備以外のところで会員外の者が手伝っていることを見かける。理事などがその役目に付いた方が良いのではないか。

杉 浦 代議員会は3時間ぐらい確保した方が良い。終わりは遅くなり過ぎると担当支部の学会準備に影響することもあるので、6時ぐらいが良いのではないか。

#### 議題2) 会計マニュアル

平 野 代議員総会で財務マニュアルを整備して欲しいと要望が出ていたので、審議をお願いします。

三 浦 現在あるマニュアルは会計クラウドでは使用できない。改めてマニュアルの作成が必要である。

野 山 会計担当者がミスを起こさないようにするためにもマニュアルは整備しなければならない。

可 知 会計クラウド上にマニュアルを配置すると良い。

中 川 会計処理をする時、専門用語が多いので言葉の説明など、理解しやすいようにして欲しい。

平 野 早急にマニュアル作成に取りかかり、次の理事会までに作成をお願いします。

#### 議題3) 会計書類の保管

平 野 会計帳簿の保管期間が10年と定められている。本部の保管スペースでは限界に来ている。今後毎年

60冊の会計ファイルの保管方法について良い方法があれば教えて欲しい。

可 知 安価な賃料で借りられるコンテナボックスなどを利用することも一つの方法ではないか。

#### 議題4) 提言

(1)年会費納入等に係る定款変更及び会費規定の新設について(近畿地方会)

##### ①会員資格の喪失の変更

平 野 会員資格喪失に関わる会費未納期間を2年から1年にする提言が出されている、意見を求める。

杉 浦 定款どおり2年間で良い。

野 山 当年度未払いで除籍して良いと思う。

可 知 定款どおり2年間の未納者は除籍で良い。

(採決では、現行どおり多数で否決される)

##### ②会費徴収時期の変更

平 野 会費徴収時期を前年度末に変更する提言に対し、意見を求める。

杉 浦 年度末徴収を実施すると、本部での年度末事務作業が煩雑となり、その時期の徴収は不可能だ。

(採決では、現行どおり多数で否決される)

##### ③延滞金の創設

平 野 会費未納者に対して延滞金を科す規程を設ける提言について。意見を求める。

可 知 会費納入規程に準拠して延滞金の徴収を行うべきである。

杉 浦 会費納入規程に延滞金の金額を明示し徴収すべきです。延滞金徴収を書き加えた会費納入規程を次の理事会に示します。

平 野 延滞金の額を採決します。

(採決の結果、延滞金は年間3,000円に決まる)

(2)現会費未納者を含めた今後の対応について(近畿地方会)

##### ①未納者の技能認定登録者名簿からの削除

平 野 会費未納者を技能認定登録者名簿から削除する提言に対して、意見を求める。

杉 浦 会員外であっても3年間に30単位取得していれば名簿に掲載しなければならないので、削除はできない。

小路口 技能認定登録をした会員については、会費未納者で会員外になったとしても登録期間の3年間は名簿に掲載しなければなりません。

平 野 内閣府からも指導されているように会員、非会員を問わず一定の研修を修了し3年間に30単位を取得しているものは名簿に名前を掲載することになっているので、削除はしない。

②会費未納で退会または除籍となった後、再入会する場合は未納会費の全納を条件とすることを制度として規定する。

平 野 会費未納者の再入会規程を定める提言に対し、意見を求める。

杉 浦 会費納入規程の中に、未納会費ならびに延滞金を全納した場合は再入会を認める、などの文言を規程入れ次の理事会に提示します。

(採決では1名を除く、賛成多数で規程を整備することとなった)

(3)会費未納者への速やかな対応について(近畿地方会)

##### ①包括的(組織・財務・技能認定・支部)な会員登録名簿システムの構築

平 野 各部局で管理しているデータをリンクさせ、新しい情報を互いに共有し会費未納者などの対応を速やかに行えるようシステムの構築を求める提言が出されている。意見を求める。

小路口 現在、本部の作業として進行中の事であるので、それを更に進めて



行けば良いのではないか。

杉 浦 現在、ほぼそういう形になりつつあるので、後は財務管理クラウドの中に長期滞納者を確認できるようにすれば、この提案は良いのではないか。

平 野 このまま協会本部としてシステムの構築を進めていく。

(全員了承す)

②臨時の本部協力委員(仮名)の設置

平 野 臨時の本部協力委員の設置を求める提言に対し、意見を求める。

杉 浦 財務局的には、本部の近くにいる会員で財務処理ができる部員が良い。

平 野 会費徴収などについて、執行委員長や支部長がもう少し協力いただけると助かる。

三 宅 協力委員だと責任制に疑問を感じる。現時点では難しいのでは。

丹 羽 執行委員長や支部長など地方役員そのものが、言い換えると本部役員と同じことで、あえて設けなくても良いのではないか。

(採決では本部協力委員の設置は否決される)

#### 議題5) その他

平 野 西日本理学療法研修学会の内容について、学術局長に説明を求める。

小 川 西日本理学療法研修学会は、第12回を数え内容は特別講演、会員発表などを行っている地方学会であると学術局としては位置付けており、5単位の取得を認めています。

す。

可 知 協会が行っている学術活動と、この学会はどのような関わりになっているのか。主催はどこなのか。

倉 石 この学会は、協会会員の中から始められた学会で、当初協会が目指す学術的なメインのものとニュアンスが若干違う面もあったが、協会会員が主催して行っていたので、学会として5単位を認めるのは正しいことです。

小路口 本部の方へ地方会として、企画書など開催届を提出しているのか。

平 野 地方学会の補助金の対象にはしていないが、書類の提出はある。

可 知 地方学会として開催するためには、協会に事業計画、事業報告、予算書、決算書などを提出しなければ認められない。協会の規程と相反するので整合性を取って欲しい。

平 野 これからは、地方学会と同様に決算報告、終了報告など協会の規程に沿った運営を行うよう要請する。詳細を再度中国地方会に確認して、次回理事会で報告します。

杉 浦 新しい定款の発送は10月に役員並びに地方役員へ送付します。改定内容は、次の役員改選より理事9名、監事2名となります。

理事会では、多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以 上

## 令和元年度 保険局活動報告

日時 令和元年6月26日(水)  
場所 協会事務所及び厚生労働省  
出席者 平野会長 青柳保険局長

タ上、全く問題ないと思われる。  
念を押すのであれば、患者に「研究に活用する等」の同意書をもらえば最良ではないか。

10:30～11:15 協会事務所

厚労省へ提示する要望書及びエビデンスデータの取りまとめ。

今回の要望は、各要望に効果的なエビデンスデータ作成の、指導を仰ぐことが目的であることを確認

13:00～13:30

保険局医療課 担当者

口頭で技能認定登録者が算定可能な項目を確認。治療効果(エビデンス)を提示し、①疾患別の格差是正 ②脳血管及び廃用Iへ技能認定登録者の組み入れ ③消炎鎮痛で技能認定登録者の別評価 ④疾患別に技能認定登録者のはり師きゅう師の組み入れの要望を行った。

また、データ集積における、個人情報取り扱いについて、注意すべき事項の指導を仰いだ。

(担当者の対応)

- ・治療効果について、疾患や状態像など、同じデザインでなければ議論できない。
- ・中医協の支払い側は、疾患別の場合、理学療法士等と同じデザインで効果があるか否かを、評価する。理学療法士協会からデータ提供受けてはどうか。
- ・全体のサンプル数が少ない。1～2年でデータの集積が難しいのであれば、長年データを積み重ねる必要があるのではないか。
- ・疾患別は、FIMが効果的
- ・個人情報については、今回提示されたデー

13:40～14:20

老健課・振興課 担当者

口頭で技能認定登録者が算定可能な項目を確認。治療効果(エビデンス)を提示し、①通所リハ全ての時間の基本単位数算定、②個別機能訓練のリハ専門職に技能認定登録者を含める。の要望を行い、指導を仰いだ。

(担当者の対応)

- ・通所リハ1～2時間の算定は、超法的、特例的な措置であったため、その分野で業務するものが少ないことが理解できない。
- ・理学療法士は、決められた年限に一定のカリキュラムを積み、国家試験に合格して全て時間が算定可能になっているため、かなり高い効果がないと、理学療法士協会が納得しないと思う。
- ・治療効果の数が全く話にならない。
- ・理学療法士協会が、納得できる治療効果が必要ではないか。
- ・機能訓練指導員における技能認定登録者の割合は、全体の1.3%(国が調査)仮に1.3%の人が高い治療効果を示しても、全体の1.3%の人を評価することはできないため、もっと数を増やさないと話にならない。
- ・次期改定で、リハ専門職が別評価されるようなことは、現段階では上がっていない。

その他、

疾患別及び通所リハは、日本理学療法士協会消炎鎮痛及び機能訓練では、あはき関連団体の理解と協力が必要ではないか。

以上

# 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	3,225	2,967	258
② 受取入金	153,000	219,000	△ 66,000
③ 受取会費 正会員受取	31,074,000	30,530,000	544,000
④ 事業収益			
学会事業収	4,219,841	3,775,000	444,841
講習会事業	10,762,000	11,626,616	△ 864,616
技能認定登	1,810,000	3,155,000	△ 1,345,000
⑤ 受取補助金	0	0	0
⑥ 受取寄付金	433,755	123,290	310,465
⑦ 雑収益			
広告料収益	40,000	254,367	△ 214,367
雑収益	654,945	22,287	632,658
経常収益計	49,150,766	49,708,527	△ 557,761
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	900,000	900,000	0
給料手当	967,744	905,168	62,576
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	11,208,625	9,921,425	1,287,200
通信運搬費	1,844,443	2,438,128	△ 593,685
減価償却費	221,692	225,815	△ 4,123
消耗品費	1,914,440	1,855,357	59,083
修繕費	0	0	0
印刷製本費	6,357,372	6,276,246	81,126
光熱水料費	126,669	114,544	12,125
賃借料	2,293,825	3,698,766	△ 1,404,941
保険料	0	0	0
諸謝金	7,297,508	7,719,207	△ 421,699
租税公課	69,075	68,813	262
支払負担金	0	0	0
雑費	3,191,593	668,713	2,522,880
事業費計	36,392,986	34,792,182	1,600,804

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
役員報酬	300,000	300,000	0
給料手当	322,581	301,722	20,859
福利厚生費	0	0	0
会議費	0	540,984	△ 540,984
旅費交通費	3,736,208	3,307,141	429,067
通信運搬費	614,814	812,709	△ 197,895
消耗品費	638,147	618,452	19,695
修繕費	292,920	256,630	36,290
印刷製本費	1,472,758	2,253,345	△ 780,587
光熱水料費	42,223	38,181	4,042
賃借料	815,408	828,564	△ 13,156
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	23,025	22,937	88
支払負担金	0	0	0
雑費	5,500,975	5,850,417	△ 349,442
減価償却費	73,898	75,272	△ 1,374
管理費計	13,832,957	15,206,354	△ 1,373,397
経常費用計	50,225,943	49,998,536	227,407
評価損益等調整前当期経常増減	△ 1,075,177	△ 290,009	△ 785,168
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減	△ 1,075,177	△ 290,009	△ 785,168
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	0		0
当期経常外増	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,075,177	△ 290,009	△ 785,168
一般正味財産期首残高	63,409,808	63,699,817	△ 290,009
一般正味財産期末残高	62,334,631	63,409,808	△ 1,075,177
II 指定正味財産増減の部			
1 増加の部			
受取利息	10	327	△ 317
2 減少の部			
一般正味財産への振替額	400,835	114,290	286,545
当期指定正味財産増減額	-400,825	-113,963	-286,862
指定正味財産期首残高	2,230,368	2,344,331	△ 113,963
指定正味財産期末残高	1,829,543	2,230,368	△ 400,825
III 正味財産期末残高	64,164,174	65,640,176	△ 1,476,002

# 貸借対照表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
現金預金	5,946,636	5,333,584	613,052
未収会費	2,920,000	2,720,000	200,000
前払全国学会事業費	0	300,069	△ 300,069
前払地方学会事業費	0	0	0
前払管理費	0	0	0
前渡金	0	0	0
流動資産合計	8,866,636	8,353,653	512,983
2 固 定 資 産			
(1) 特定資産			
高木賞等基金	1,829,543	2,230,368	△ 400,825
記念学会基金	1,290,656	2,440,819	△ 1,150,163
公益事業基金	37,031,322	37,029,020	2,302
減価償却引当資産	0	0	0
特定資産合計	40,151,521	41,700,207	△ 1,548,686
(2) 有形固定資産			
建物	5,354,007	5,635,466	△ 281,459
什器備品	13,313	27,444	△ 14,131
土地	11,063,334	11,063,334	0
その他の固定資産合計	16,430,654	16,726,244	△ 295,590
固定資産合計	56,582,175	58,426,451	△ 1,844,276
資 産 合 計	65,448,811	66,780,104	△ 1,331,293
<b>II 負 債 の 部</b>			
1 流 動 負 債			
未払金	932,637	929,928	2,709
前受会費	352,000	210,000	142,000
前受事業収益	0	0	0
流動負債合計	1,284,637	1,139,928	144,709
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	1,284,637	1,139,928	144,709
<b>III 正 味 財 産 の 部</b>			
1 指 定 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	1,829,543	2,230,368	△ 400,825
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	1,829,543	2,230,368	△ 400,825
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	62,334,631	63,409,808	△ 1,075,177
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	38,321,978	39,469,839	△ 1,147,861
正味財産合計	64,164,174	65,640,176	△ 1,476,002
負債及び正味財産合計	65,448,811	66,780,104	△ 1,331,293

# 監 査 報 告 書

会 長 平 野 五 十 男 殿

平成 31 年 4 月 29 日

公益社団法人 全国病院理学療法協会

監 事 大 塚 正 廣



監 事 中 川 保



監 事 大内田 義 巳



私たち監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

## 2. 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

## 諸会議及び役員渉外行動報告

月 日	用 務 地	用 務 内 容
4/6	協会事務所	会員管理・財務管理に係る協議（平野・杉浦・非会員1名）
9	協会事務所	ニュー大崎管理組合理事会（平野）
11	協会事務所	第68回 日本理学療法学会の学会抄録校正（平野・柳澤）
14	協会事務所	火災報知器交換立ち合い（平野）
17	協会事務所	葬税理士法人財務処理（平野・三浦・杉浦）
18	協会事務所	葬税理士法人財務処理（平野・三浦・杉浦）
20	協会事務所	葬税理士法人財務処理（平野・杉浦）
22	厚生労働省 医事課	平成30年度 技能講習会終了報告書提出（平野）
28	協会事務所	会長、副会長業務打合せ（平野・小川・青柳）
29	協会事務所	平成30年度 監査会（大塚・中川・大内田・平野・小川・青柳・杉浦）
5/6	協会事務所	平成30年度 決算書・監査報告に係る書面表決集計 代議員へ決算書等の討議資料発送（平野）
7	品川税務署 品川都税事務所・法務局	納税証明書受領 履歴事項全部証明書受領（平野）
8	協会事務所	退会者への会費引き落としに係る対応検討（平野・杉浦・ JCB社員2名）
10	協会事務所	会員管理・組織管理に係る協議（平野・非会員1名）
17	協会事務所	コピー機入れ替えに係る打合せ（平野・リコー社員）
22	協会事務所	東日本銀行・定期預金積み立て（平野）
23	諫早観光ホテル 道具屋	学会役員と本部役員との打ち合わせ・夕食会
24	諫早観光ホテル 道具屋	地方会代表者会議・第60回 定時代議員総会
25・26	諫早観光ホテル 道具屋	第68回 日本理学療法学会
30	全鍼師会館	あはき等法推進協議会（平野）
6/1	東京医療福祉専門学校	マッサージ等将来研究会（小川）
6/4	厚生労働省 医事課	令和元年度 技能講習会後援名義申請（平野）
5	協会事務所	葬税理士法人財務処理（平野・三浦・杉浦）
6	協会事務所	診療報酬・介護報酬に係る要望書協議（平野・青柳）
7	協会事務所	会員管理・財務管理等の協議（平野・丹羽・非会員1名）
8	協会事務所	令和元年度 役員名簿作成・印刷（平野）
9	杉山記念会館	杉山検校遺徳顕彰会 評議員会（平野）
11	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会（平野）
12	財団事務所	東洋療法研修試験財団 評議員会（平野）
15	南部労政会館	大崎西口駅前地区市街地開発準備組合通常総会（平野）
19	協会事務所	葬税理士法人財務処理（平野・三浦・杉浦）
26	厚生労働省 医療課 老健局 振興課・老人保健課	エビデンス集積結果と診療報酬・介護報酬に係る要望 （平野・青柳）
7/6	東京医療福祉専門学校	マッサージ等将来研究会（小川）
6	協会事務所	広報編集委員会（平野・青柳・小川・小路口） 協会ホームページに係る協議（平野・青柳・小川・丹羽・ 小路口・野山）
7	協会事務所	令和元年度 第1回理事会（理事会構成員）
13・14	東京医療福祉専門学校	認定訪問マッサージ師実践講座及び更新講習会（小川）

## 本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛先	文書名
4/1	1	役員・代議員 各位	第 60 回 定時代議員総会開催通知
1	2	地方会執行委員長 各位	第 60 回 定時代議員総会に係る関連文書提出のお願い
1	3	地方会執行委員長 各位	地方会代表者会議 開催通知
1	4	病院長・施設長 各位	第 68 回 日本理学療法学会 出張許可願い
1	5	理事・執行委員長・支部長 各位	協会ホームページのアドレス変更について
1	6	地方会執行委員長・支部長 各位	年度末決算 「短期借入金収入」の取り扱いについて
1	7	地方会執行委員長・支部長 各位	事業報告書並びに事業計画書の提出について
1	8	支部長 各位	東洋療法研修試験財団に係る申請書について
10	9	地方会執行委員長・支部長 各位	平成 31 年度 交付金について
10	10	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録更新について
15	11	東洋療法研修試験財団 理事長	第 68 回 日本理学療法学会の開会式へのご臨席とご祝辞拝受についてのお願い
22	12	厚生労働省 事務次官	平成 30 年度 運動療法機能訓練技能講習会終了報告書について
22	13	地方会執行委員長・支部長 各位	支部長・文書受領者の届け出のお願い
29	14	理事 各位	平成 30 年度 事業報告・平成 30 年度 決算書及び監査報告の書面表決についてのお願い
5/7	15	代議員 各位	平成 30 年度 決算書及び監査報告の送付と書面表決の結果について
7	16	東洋療法研修試験財団 理事長	第 68 回 日本理学療法学会の学会抄録の送付について
8	17	関係団体 各位	第 68 回 日本理学療法学会へのご祝辞拝受について
15	18	東京衛生学園専門学校 渡辺明春 先生	原稿ご執筆のお願い
16	事務連絡	デイジー横浜	業務委託契約書の送付について
17	19	退会者 各位	JCB カードによる会費引き落としに係る払い戻しについて（お詫びとご説明）
6/3	20	関係団体 各位	第 68 回 日本理学療法学会への祝電拝受のお礼
3	21	理事会構成員 各位	令和元年度 第 1 回理事会の開催について
3	22	地方会執行委員長・支部長 各位	令和元年度 役員名簿提出及び会員名簿確認のお願い
3	23	東洋療法研修試験財団 理事長	財団共催生涯研修会開催申請書の送付について
4	24	厚生労働省 事務次官	令和元年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
4	25	新潟医療大学リハ科 正木光裕 先生	第 42 回 理学療法指導者講習会講師依頼について
4	26	木島病院 理事長	施設利用願いについて（指導者講習会）
5	27	支部長 各位	平成 30 年度 「承認単位通知書」の送付について
5	28	日本総合医療専門学校 事務長	賛助会費納入のお願い
10	29	関係団体 各位	令和元年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
12	事務連絡	役員・支部長 各位	令和元年度 役員名簿の送付について
20	30	東北学会 学会長	第 59 回 東北理学療法研修学会への出席について
20	31	地方会執行委員長・支部長 各位 支部財務担当者 各位	令和元年度 第 1 四半期会計ファイルの送付
20	32	理事会構成員 各位	令和元年度 第 1 回理事会討議資料の送付



## 菊 田 京 一 先生

### 旭日双光章受章の榮譽に輝く



平成 31 年（令和元年）春の叙勲におきまして、かねてより厚生労働省医政局を通じて申請中でありました本協会前監事の菊田京一先生には、栄えある旭日双光章受章の榮譽に浴され、5 月 24 日、皇居の春秋の間において親しく天皇陛下に拝謁を賜りました。

誠にめでたいことであり、心よりお祝い申し上げます。

先生は、平成 4 年から平成 24 年 3 月まで 20 年間にわたって、本協会の常任理事（組織局長）として、協会組織の維持・発展に尽力された功績は高く評価されております。

さらに、本協会が公益社団法人に移行した平成 24 年 4 月から 6 年間にわたり協会監事に選出され、協会事業の健全な運営を監視した功績は計り知れないものがあります。

また、協会本部役員の傍ら、福島県支部の支部長や東北地方会副会長なども歴任し、その間、東北理学療法研修学会の学会長や準備委員長として、会員の資質の向上に果たした功績も誰もが認めるものであります。

温厚で誰にでも優しく接し、常に他者を思いやる人物で、周囲からの信望が厚い菊田先生であります。健康に留意され、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。榮譽報告といたします。

令和元年 7 月吉日

公益社団法人 全国病院理学療法協会 表彰選考委員会

## 第 69 回 日本理学療法学会 開催案内

学会テーマ	「人生百年時代を迎えて」 — どう延す健康寿命 —
会期	令和 2 年 5 月 22 日 (金)・23 日 (土)・24 日 (日)
会場	今池ガスビル 9 階今池ガスホール (学会)・7 階 (諸会議) 〒 愛知県名古屋市千種区今池 1 - 8 - 8 TEL 052 - 731 - 7670
参加費	会員 8,000 円 (事前申込) / 10,000 円 (当日参加) 会員外 15,000 円・学 生 4,000 円 市民公開講座 無料
内 容	特別講演 (I) 23 日 (土) テーマ 「運動のパートナーとしての感覚」 講 師 中部大学 生命健康科学部 理学療法学科 教 授 戸田 香 先生 特別講演 (II) 23 日 (土) テーマ 「高齢者の脊椎疾患について」 講 師 独立行政法人 岐阜県総合医療センター 主任部長・脊椎脊髄外科センター部長 整形外科主任医長 細江 英夫 先生 分科会 23 日 (土) テーマ 「MRI の応用と戦略について」 講 師 八田整形外科クリニック 院 長 橘 成志 先生 市民公開講座 24 日 (日) テーマ 「健康寿命の延伸のためにできること」 ～認知症予防を中心に～ 講 師 国立長寿医療センター 長寿医療研究センター長 老年内科部長 遠藤 英俊 先生
会員発表	30 題～ 40 題 (予定)
主催	公益社団法人 全国病院理学療法協会
担当	中部地方会 愛知県支部
学 会 長	加藤 尚浩 西尾市民病院 リハビリテーション科 〒 445-0071 西尾市熊味町上泡原 6 番地 TEL (0563) 56-3171
準備委員長	近藤 隆信 ベル整形外科クリニック リハビリテーション科 〒 488-0867 尾張旭市城前町四丁目 1 番 34 TEL (0561) 55-5880
事 務 局	日比野 智 八田整形外科クリニック リハビリテーション科 〒 454-0873 名古屋市中川区上高畑二丁目 65 TEL (052) 364-8844 FAX (052) 364-8864 連絡先 (携帯) 090-6579-0993 E-mail:aoringo@orihime.ne.jp

令和元年 5 月吉日

会 員 各 位

公益社団法人 全国病院理学療法協会  
会 長 平 野 五 十 男

第 69 回 日 本 理 学 療 法 学 会  
学 会 長 加 藤 尚 浩  
準 備 委 員 長 近 藤 隆 信  
(公 印 省 略)

## 第 69 回日本理学療法学会における 演題の募集のお願い

新緑の候、会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、令和 2 年度における本協会の一大事業である、第 69 回日本理学療法学会を、中部地方会愛知県支部が担当し、名古屋市千種区今池ガスビル 9 階ガスホールにおいて開催する運びとなりました。

つきましては、諸先生方に貴重な臨床研究の成果を発表していただき、この機会に会員相互の知識・技術の向上を図り、実りある学会にしたいと考えております。

本学会を成功させるためにも一人でも多くの先生方からの演題の提供をお願い申し上げます。

なお、演題募集ならびに申し込みにつきましては、下記演題募集要項のとおりよろしくお願い申し上げます。

### 【一般演題募集要項】

- |            |   |
|------------|---|
| 1. 発 表 演 題 | 自由演題  |
| 2. 発 表 時 間 | 7 分以内   |
| 3. パワーポイント | Office 2019 まで使用可能です。<br>CD-ROM に保存し、コピーと原稿を添付してください。   |
| 4. 抄 録 原 稿 | 横書き原稿用紙 800 字以内   |
| 5. 申 込 締 切 | 令和元年 11 月 20 日 (演 題)<br>令和元年 12 月 20 日 (抄録原稿)   |
| 6. 送 付 先   | 渡会 洋一<br>つねだ整形外科・皮ふ科 リハビリテーション科<br>〒508-0041 岐阜県中津川市本町 4-2-15<br>TEL: 0573-65-5766 FAX: 0573-66-3287<br>連絡先: 090-5855-8596<br>E-mail: gakuju2@yoichiw.enat.jp |

## 第 69 回日本理学療法学会 演題申込書

令和 年 月 日

※発表者氏名・施設名には必ず フリガナ をご記入ください、

演 題 名		
支 部 名	支 部	発表者氏名
発表者氏名	フリガナ	
	-----	
勤務先施設名	フリガナ	
	(所属)	
勤務先住所	〒	
	TEL ( )	FAX ( )
自 宅	〒	
	TEL ( )	FAX ( )
	メールアドレス :	
連 絡 先	勤務先 ・ 自宅	パワーポイント： 有 ・ 無
連絡事項		

※以下 事務局記入欄

受 付 番 号	
受 付 日	令和 年 月 日
演 題 番 号	
発 表 日 時	

## 第59回 東北理学療法研修学会のご案内

テーマ	よりよい健康寿命を保つために ～「いたみ」と共存し心豊かに～
日時	令和元年9月14日(土)～15日(日)
会場	エスポワールいわて(岩手県盛岡市中央通1丁目1-38)
交通	JR盛岡駅から徒歩20分 市内循環バス右回り 中央通1丁目下車徒歩2分
特別講演	演題名「脊柱疾患の痛み～症状と治療～」 講師 岩手医科大学医学部 整形外科学講座 特任講師 遠藤 寛興 先生
市民公開講座	演題名「生活習慣病とフレイルについて(食生活の面から)」 講師 医療法人社団 高松病院 管理栄養士 工藤 文代 先生
会員発表	8題(予定)
参加費	会員 4,000円 会員外 6,000円
主催	(公社)全国病院理学療法協会 東北地方会
担当	東北地方会 岩手・秋田県支部
学会長	細川 公 ・ 準備委員長 高橋 欣智

## 第46回 中国四国理学療法学会のご案内

テーマ	「健康寿命とリハビリテーション」
日時	令和元年11月2日(土)～3日(日)
会場	アークホテル広島駅南 〒732-0806 広島市南区西荒神町1-45 TEL (082) 263-6363
内容	1日目:11月2日(土) 役員会議・懇親会 2日目:11月3日(日) 学会
特別講演	演題名「健康寿命とリハビリテーション」 講師 広島大学病院リハビリテーション科 教授 木村 浩彰 先生
市民公開講座	1 演題名「嚥下指導と栄養」 2 演題名「笑いヨガ」
会員発表	8題～10題(予定)
主催	(公社)全国病院理学療法協会 中国地方会
学会長	今村 一成 ・ 準備委員長 坂原 博昭

## 第 42 回 理学療法指導者講習会のご案内

日 時 令和元年 10 月 20 日（日）9：00～16：00  
会 場 医療法人 光仁会 木島病院リハビリテーションセンター  
〒920-0011 石川県金沢市松寺町子 41-1  
TEL 076-237-9200  
タイトル 「高齢者の介護予防のためのリハビリテーション」  
午前：高齢者の身体機能について（講義）  
午後：高齢者のトレーニングについて（実技）  
講 師 新潟医療福祉大学 理学療法学科  
理学療法士 講師 正木 光裕 先生  
受講者数 40 名（予定） 取得単位数 5 単位  
申し込み締め切り 令和元年 8 月 31 日（厳守）

## 令和元年度 認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会 開催案内

1. 基礎講座  
日 時：令和元年 11 月 23 日（土）11：00～18：00  
24 日（日）8：30～15：30  
会 場：東京医療福祉専門学校  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-11-11  
TEL 03-3551-5751
2. 実技講義  
日 時：令和 2 年 2 月 1 日（土）10：00～18：00  
2 日（日）8：30～16：30  
会 場：同 上
3. 受講料  
1) 認定訪問マッサージ師講習会  
40,000 円（全病理会員マッサージ師・はり師・きゅう師）  
2) 認定機能訓練指導員講習会  
10,000 円（会員・会員外）
4. 認定証 有効期間 5 年間  
（更新の場合は研修会を受講し 5 年間有効となる）
5. 申し込み先  
公益社団法人 埼玉県鍼灸マッサージ師会内  
〒360-0012 埼玉県熊谷市上之 1777-4  
認定訪問マッサージ師及び認定機能訓練指導員事務局  
TEL 070-6454-9541 / 048-525-3222  
FAX 048-525-3231  
<http://www.saitama-sams.or.jp>  
mail : [info@saitama-sams.or.jp](mailto:info@saitama-sams.or.jp)

申し込み締め切り 令和元年 8 月 15 日

\* 地方学会、指導者講習会などの詳細については協会 HP にてご確認ください。

## 令和元年度 会費納入のご案内

“会費をまだ納めていない方は”  
早急に下記の口座へ納金をお願い致します。

1. 令和元年度の会費につきましては、以下の要領で納入をお願い致します

- 1) 納入対象者 平成 31 年 4 月 1 日現在の会員
- 2) 会費納入期限 平成 31 年 4 月 30 日
- 3) 納入金額 協会費 22,000 円 連盟会費 1,000 円
- 4) 納入方法

- JCB ビジネスカード納入（カード納入が原則）

振替日 令和元年 5 月 10 日

- \*協会会費は JCB ビジネスカードで納入することが基本です

JCB カード未加入の方は至急協会本部へ加入申請を行ってください  
必要書類をお送りいたします

- 「ゆうちょ銀行」から「ゆうちょ銀行」への振込口座

〔口座記号・番号〕 00110-5-3747

〔口座名義〕 公益社団法人全国病院理学療法協会

支部名・氏名を必ず記入してください

例：令和元年度（2019 年）会費 東京支部 理療 太郎

- 他の銀行（ATM）などから「ゆうちょ銀行」への振込口座

〔銀行名〕 ゆうちょ銀行

〔店名〕 〇一九（ゼロイチキュウ）

〔預金種目〕 当座預金

〔口座番号〕 0003747

〔口座名義人〕 公益社団法人全国病院理学療法協会 平野

支部名・氏名を必ず記入してください

例：令和元年度（2019 年）会費 東京支部 理療 太郎

※ 請求書・領収書が必要な方は、協会本部にお申し出ください

※ 令和元年度（2019 年）より協会費は 22,000 円になります

※ 連盟会費 1,000 円と合わせ 合計で 23,000 円の納入となります

※ 振り込み手数料はご負担願います

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21  
ニュー大崎 318号

TEL 03 (3494) 1948

FAX 03 (3494) 1950

ホームページアドレス <http://nhpta.net>

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 小路口 憲

[ken218@lapis.plala.or.jp](mailto:ken218@lapis.plala.or.jp)